2020年度　日本工学院八王子専門学校
こども学科　　（保育士コース）
こどもの指導法「言葉」

対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	演習	時間数	15	単位	1
担当教員	宮﨑麻子			実務経験	無	職種					

授業概要

人間は言葉を使用することにより、意志や感情を伝え合うことが可能となり、高度な思考や文学作品を味わうこともできる。子どもの誕生から就学までの言葉の発達過程を学び、それぞれの発達段階に合った児童文化財について検討する。わらべうた、赤ちゃん絵本、物語絵本、幼年童話等への理解を深め、子どもの豊かな言語表現活動に繋がる保育者としての言葉の在り方や姿勢を養い、保育の現場で活用できる保育実技を習得する。

到達目標

主に次の３点である。１）言葉とは何か。言葉の機能や意味について理解して説明できるようになる。
２）子どもの誕生から就学前までの言葉の発達過程を捉え、言語教材が持つ意義を認識し、理解できる。
３）子どもの言葉が豊かになるために、保育や保育者の援助はどうあるべきかについて実践を通して学ぶ。

授業方法

子どもの誕生から就学までの言葉の発達過程を理解し、子どもの言葉を育てる児童文化財を適切に選択して活用する。また、保育者の言葉の在り方、姿勢などについて学習を深めるとともに、言葉のもつ楽しさや、言語教材についても実践的な取り組みを行い、言葉を獲得するとはどういうことなのかを探求する。

成績評価方法

試験と課題等で総合的に評価する。

履修上の注意

積極的な授業参加が必須の授業である。絵本の読み聞かせ等は学生が順番に担当する。自分の子ども時代を思い出しながら、「子ども」について考えを深めること。ただし、授業時数の４分の３以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

レジュメや資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に適宜指示する。

回数	授業計画
第１回	言葉とは何か
第２回	乳幼児期の言葉の発達過程
第３回	保育者の言葉の在り方

2020年度　日本工学院八王子専門学校	
こども学科　　（保育士コース）	
こどもの指導法「言葉」	
第４回	言葉の面白さ・美しさを感じる
第５回	「言葉」と小学校
第６回	言語教材とは（絵本の活用）
第７回	文字なし絵本と創作
第８回	全体のまとめ